

混用事例

2018 年 10 月現在

殺菌剤	薬 剤 名	混用
	アフエットフロアブル	○
	アミスター 20 フロアブル	○
	アリエッティ水和剤	○
	イオウフロアブル	○
	園芸ボルドー	○
	オンリーワンフロアブル	○
	ガッテン乳剤	○
	カップパーシン水和剤	○
	カリグリーン	○
	カンタスドライフロアブル	○
	キノンドーフロアブル	○
	ゲッター水和剤	○
	コサイド 3000	○
	サンヨール	○
	ジーファイン水和剤	○
	シグナムWDG	○
	ジャストミート顆粒水和剤	○
	ストロビーフロアブル	○
	スミブレンド水和剤	○
	スミレックス水和剤	○
	セイビアーフロアブル 20	○
	Zボルドー	○
	トップジンM水和剤	○
	トリフミン水和剤	○
	バシタック水和剤 75	○
	バリダシン液剤 5	○
	パンチョ TF 顆粒水和剤	○
	ピクシオ DF	○
	ファンタジスタ顆粒水和剤	○
	ファンベル顆粒水和剤	○
	フルピカフロアブル	○
	プロバティフロアブル	○
	フロンサイド水和剤	○
	ベンレート水和剤	○
	ホライズンドライフロアブル	○
	ポリオキシンAL水和剤	○
	ポリペリン水和剤	○
	マイコシールド	○
	マスタピース水和剤	○
	ムッシュボルドーDF	○
	モレスタン水和剤	○
	モンカットフロアブル 40	○
	ライメイフロアブル	○
	ランマンフロアブル	○
	ロブラール水和剤	○

殺虫・殺ダニ剤	薬 剤 名	混用
	アグロスリン乳剤	○
	アーデント水和剤	○
	アドマイヤーフロアブル	○
	アフーム乳剤	○
	アルバリン顆粒水溶剤	○
	ウララ DF	○
	エコピタ液剤	○
	エコマスター BT	○
	エスマルクDF	○
	カスケード乳剤	○
	クリアザールフロアブル	○
	コテツフロアブル	○
	コルト顆粒水和剤	○
	コロマイト乳剤	○
	ゴッツA	○
	サンヨール	○
	ジャックポット顆粒水和剤	○
	スタークル顆粒水溶剤	○
	スターマイトフロアブル	○
	スピノエース顆粒水和剤	○
	スミチオン乳剤	○
	ゼンターリ顆粒水和剤	○
	ダニサラバフロアブル	○
	チェス顆粒水和剤	○
	ディアナ SC	○
	デルフィン顆粒水和剤	○
	トルネードエースDF	○
	粘着くん液剤	○
	バシレックス水和剤	○
	バダンSG水溶剤	○
	バロックフロアブル	○
	フェニックス顆粒水和剤	○
	ブレオフロアブル	○
	ブレバゾンフロアブル 5	○
	ベネピアOD	○
	ボタニガードES	○
	マイコタール	○
	マイトコーネフロアブル	○
	マッチ乳剤	○
	モスビラン顆粒水溶剤	○

葉面散布肥料	薬 剤 名	混用
	エバハウソ	○
	カルクロン	○
	カルシウムエキス	○
	鮮緑	○
	トレース・セブン	○
	バイカルティ	○
	Presto	○
	プロテックQ	○
	メリット赤	○
	モイスチャー	○
	楽農美人	○
	ラメオ1号	○

展着剤	薬 剤 名	混用
	アプローチB I	○
	クミアイクミテン	○
	グラミンS	○
	サントクテン 80	○
	スカッシュ	○
	ダイコート	○
	展着剤アグラー	○
	ネオエステリン	○
	ハイテンパワー	○
	プラテン 80	○
	ブレイクスルー	○
	まくびか	○
	ミックスパワー	○
	ラビデン 3S	○
	ワイドコート	○

適用病害と使用方法

作 物 名	適 用 病 害 名	希 釈 倍 数 (倍)	使 用 液 量	使 用 時 期	本 剤 の 使 用 回 数	使 用 方 法	パチルス スズチリスを含む 農薬の総使用回数
野 菜 類 (トマト、ミニトマト、ピーマン、ほうれんそう、 食用ゆり、食用ぎく、きく(葉)、セルリー、なす、 にら、パセリ、しそを除く)	灰色かび病、うどんこ病	1,000～2,000	100～300 ℓ/10a	収穫前日まで	—	散 布	—
トマト	灰色かび病、うどんこ病 葉かび病						
ミニトマト	斑点病						
ピーマン	黒枯病						
ほうれんそう	灰色かび病、うどんこ病	1,000～2,000					
	白斑病	2,000					
食用ゆり	灰色かび病、うどんこ病	1,000～2,000					
	葉枯病	1,000					
パセリ しそ	灰色かび病、うどんこ病	1,000～2,000					
	斑点病	2,000					
セルリー	灰色かび病、うどんこ病 斑点病	1,000～2,000					
な す	灰色かび病、うどんこ病	2,000					
	すすかび病						
に ら	白斑葉枯病、うどんこ病	1,000～2,000					
しょうが	白星病	2,000					
食用ぎく きく(葉)	灰色かび病、うどんこ病						
	白さび病						
き く	うどんこ病	1,000					
花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)							
ば ら	1,000～2,000	200～700 ℓ/10a	発病前～ 発病初期				
かんきつ							
な し							
ブルーベリー	灰色かび病	2,000	200～700 ℓ/10a	収穫前日まで			

作 物 名	適用場所	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	パチルス スズチリスを含む農薬の総使用回数
野 菜 類	温室、ガラス室、ビニールハウス等 密閉できる場所	灰色かび病	1,000	10ℓ/10a	収穫前日まで	—	常温煙霧	—

使用上の注意事項

△ 効果・薬害などの注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使いきってください。
- 他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意してください。
- 低温下では効果が出にくいので、10℃以上が確保できる条件で使用してください。
- 保護作用が強く予防効果が主体なので、使用する際は次の事項に注意してください。
 - ①散布処理する場合には、次の事項に注意してください。
 - a)発病前から発病初期に7～10日間隔で使用してください。
 - b)生育の早い作物に使用する場合には散布頻度を高めるなどの工夫をしてください。
 - ②常温煙霧処理する場合には、次の事項に注意してください。
 - a)1か月あたり300ℓ/10aの処理液量を目安になるべく連続使用してください。
 - b)作業は密閉できる環境で行ってください。
 - c)作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調整してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

△ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

保管等に対する注意

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場に放置せず、適切に処理してください。
- 本資料は2018年10月現在の登録内容に基づいています。

販売元



株式会社 ニッソーグリーン

〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2 (秋葉原新高第一生命ビル5F)
☎03-5816-4351
http://www.ns-green.com/

製造元



日本曹達株式会社

本 社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1

技術資料

生物殺菌剤

農林水産省 登録第 22516 号

アグロケア® 水和剤



AGRO CARE

有効成分 パチルス ズブチリス HAI-0404 株の生芽胞…5 x 10⁹cfu/g

安全性

- 〈ラットおよびウサギ〉経口、経皮、経気道、静脈の各投与試験において感染性・病原性・体内生残性、毒性は認められず、影響ありません。
- 〈水産動物および鳥類〉コイ、ミジンコ、ウズラに対して影響ありません。
- 〈土壌微生物〉真菌、細菌、放線菌に対して影響ありません。

生物殺菌剤

アグロケア[®] 水和剤

特 長

- 従来の微生物農薬と比べ
作物の汚れが、とても少ない！
- 無加温ハウスや高冷地でも使いやすい！
低温*でも、効果を発揮。
- **使用回数制限がなく、農薬の使用回数にカウントされません。**
～減農薬栽培、無農薬栽培等のJAS認証制度に適しています。
- 収穫前日まで使用でき、果菜類の防除に好適！
- 常温煙霧でも十分な菌量が存在しているので効果は劣りません。
- 各種薬剤耐性菌に対しても効果的。

*10℃以上の環境でご使用ください。



茶葉から生まれた

生物殺菌剤

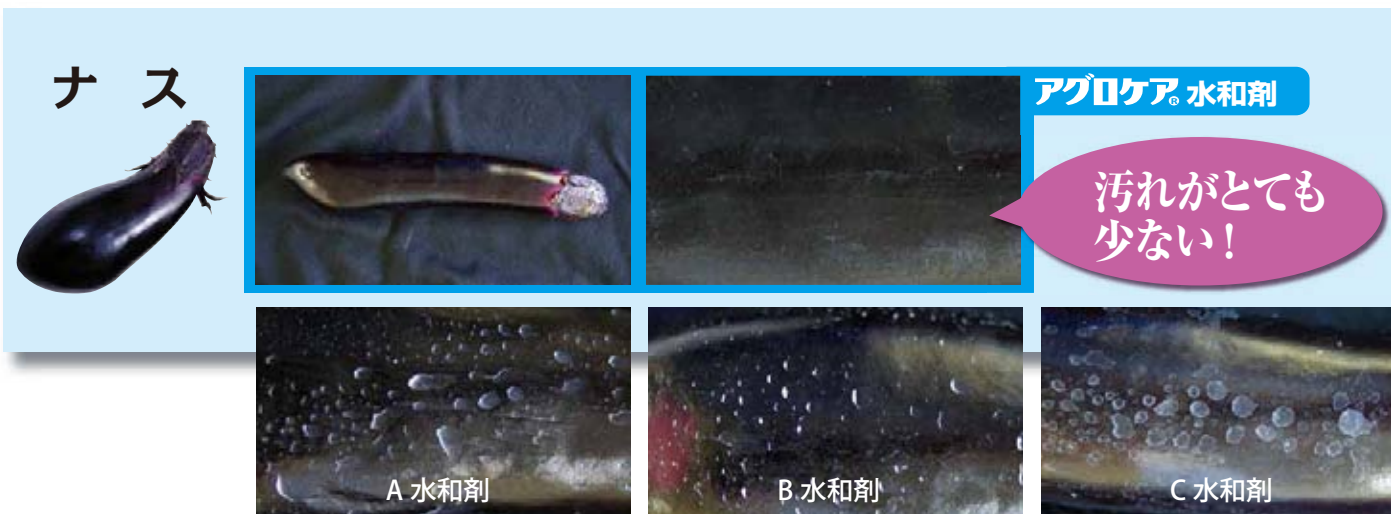
殺菌剤 農林水産省 登録第 22516 号

アグロケア[®] 水和剤

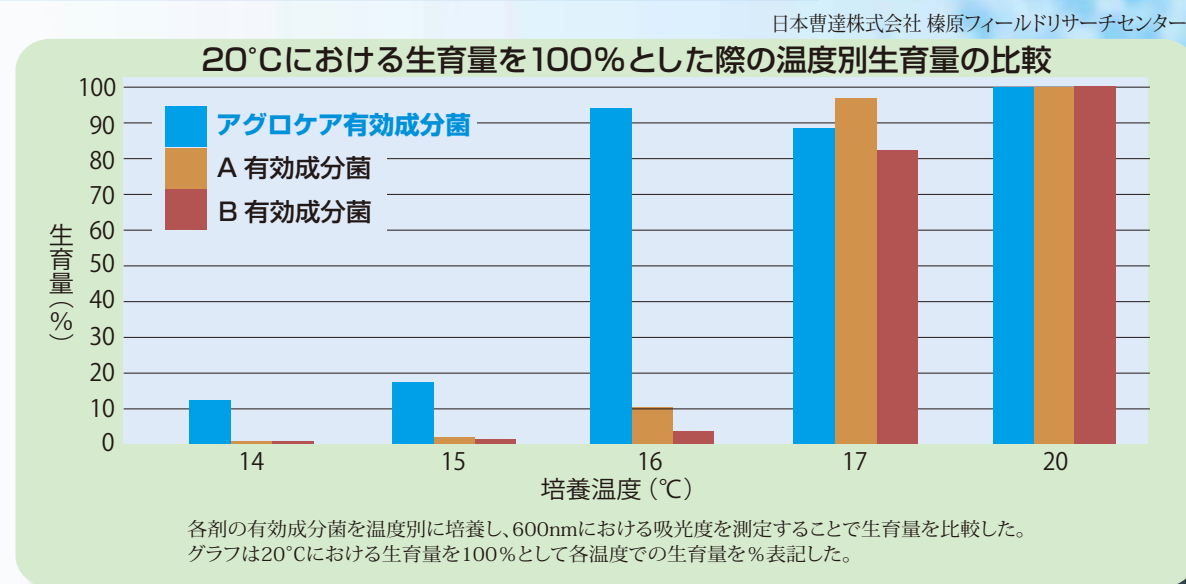
荷姿：100g×50 袋（有効4年）

汚 れ 比 較

アグロケアは作物によらず、ほとんど汚れが認められません。



低温における有効成分菌の生育量比較



上手な使い方

- 定植前に**予防散布**を行い、病原菌を本圃に持ち込まないようにしましょう。
- 予防散布により効果を発揮するので、**発病前から発病初期に7～10日間隔で散布**してください。
- 化学農薬との**体系防除**に取り入れ、計画的な散布を行いましょう。

防除体系例 1

定植前の病害発生がほとんどない場合



汚れが少ないから、収穫前の使用に最適！

防除体系例 2

定植前の病害発生がある場合



汚れが少ないから、収穫前の使用に最適！

天敵および有益昆虫に対する影響

- オンシツツヤコバチ、コレマンアブラバチ、スワルスキーカブリダニ、タイリクヒメハナカメムシ、チリカブリダニ、ヒメクサカゲロウ、ミヤコカブリダニ、セイヨウミツバチ、クロマルハナバチ、カイコ、土壌微生物(細菌、真菌、放線菌)に対して影響なし。